

調査地点:

孔口標高: m

調査年月日: 平成 11 年 3 月 17 日 ~ 平成 11 年 3 月 18 日

孔内水位: GL -1.10 m

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察記事	標準貫入試験			試験値		試料採取		原位置		
								深度 m	打撃回数 10cm毎の 打撃回数	貫入量 cm	試験名	試験深度 m	採取方法	採取深度 m	試験名	試験深度 m	
1	0.45 0.70	0.45 0.70	0.25 0.25		暗茶		再根を混入する。 粗砂。φ5~20mmの角礫混入。 上部。暗茶のシルト分混入。 粗砂。φ5~10mmの細礫。φ20~ 50mmの中礫を混入。 φ70mm位の粗礫を1mあたり2~3 個混入。含水分。 角礫混入。含水分。	0.45	30	10	10						
2	2.25 2.40	2.25 2.40	1.55 0.15		濃茶	砂礫	角礫混入。含水分。 上部より硬く岩質なめらか、GL- 3.00mまで岩片状コア主体。 GL-3.00mより岩片状~短柱状。 φ50~150mm。 スリーブ土取ると形成不能の所が 所々有り。 亀裂は非常に多い。 GL-4.50m、φ50~150mmの短柱状 コア主体。 GL-6.00mの削孔時より、透水す る。	1.45	41 30	30	40						
3					暗灰	頁岩		2.40	8 17 59 6	50	50						

(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンワオールサンブラーによる試料
- ② デニンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- コア試料

3. 原位置試験名の記号

- ⓐ 傾方向K値試験
- ⓑ 透水試験
- ⓒ 間げき水圧測定

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
45/50	45/50は採取比(50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)
3.70	